

防災(避難)訓練日程



日 時 11月19日(日)
午後1時30分～同3時頃

訓練の趣旨

- ・ 建物の耐震構造に不安があり、築38年と老朽化が目立つ状況での震災避難対応
- ・ 65歳以上が実質30%を越える木造棟の現実を直視して、階段ぐるみ、棟ぐるみ、そして木造棟全体で、災害弱者(高齢者、障害者、乳幼児など)を守りながら、震災に立ち向かう。

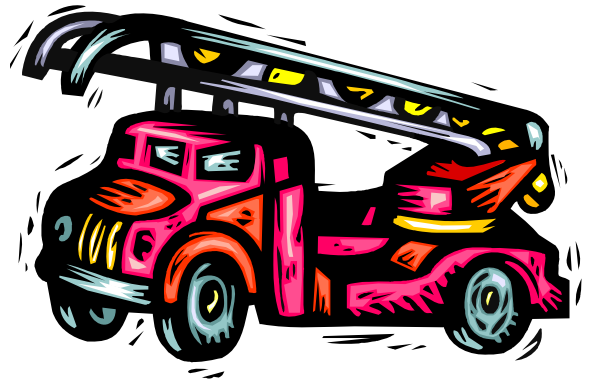
訓練日程

午前中と昼に、一斉清掃日の作業状況を勘案して、会場設営や支給品の準備に入る。
13時:消防署到着→煙体験室などの設営(補助あり)

13:30～

避難の開始

- 1 各棟南側から担当理事がサイレン(前後2回)と簡単な注意事項を呼びかける
- 2 各家庭で避難開始。
(火の元を消し、入り口は施錠する)
- 3 階段の隣近所に呼びかけあって、1階玄関前道路に階段ごとに集合する。
- 4 階段委員は、集合場所で参加表により参加者のチェックを行う。
- 5 追加参加者は、参加表に記入し、未到着者は階段ごとに再度呼びびに行く。
- 6 階段での集合が終わり次第、各号等担当理事がプラカードを持って経っている場所(東西の市道との合流点)に集結する。
- 7 担当理事は、全階段の集合状況を把握して【「さる山公園」まで誘導する。





- 8 【さる山公園】では、指定された場所に整列し、階段委員は再度安全点検を実施する。
- 9 階段委員は、最終的な参加表を担当理事に提出する。
- 10 全階段の参加表提出を受けた担当理事は、それを本部に提出する。(階段委員は、参加者の把握に努めるとともに、高齢者など災害弱者に対して、いす席への移動を勧める)

14:00

避難会場における実演等の開始

- 1 理事長からの挨拶
- 2 調布消防署・国領出張所からの挨拶と実演
 - ・煙体験の実施
 - ・救急医療の実演
- 3 防災関連グッズの紹介
 - ・消防署の障害物破壊器具
 - ・ホ号棟倉庫および防災備蓄
- 4 当日の参加者状況の報告
- 5 全体の講評（消防署、管理組合）
- 6 防災(避難)関連飲食物の紹介と提供→管理組合集会所前にて配布
 - ・アルファ米、クラッカー（市役所より）
 - ・ポカリスエット、飴（管理組合より）



15:00頃 訓練終了→解散